

□目次

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 19 回)

- 「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーのご紹介」

【アトリエ UDI 望月真一】

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第 19 回)

- 「尼崎 21 世紀の森ってご存じですか？」

【兵庫県県土整備部 21 世紀の森課 森田和男】

3. ニュース／トピック

- 社会資本整備審議会環境部会・交通政策審議会交通体系分科会環境部会「京都議定書目標達成計画の評価・見直しに関する最終とりまとめ」の公表について【国土交通省】

- 「第 1 回 交通分野における地球環境・エネルギーに係る国際的な取組に関する有識者検討会」の開催について【国土交通省】

- 地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案について【国土交通省】

- 路面電車の情報提供等実証実験の実施について【国土交通省】

- Web 版バスマップの実証実験が始まります【国土交通省】

- 羽田空港で非接触給電ハイブリッドバスが運行します【国土交通省】

- E10対応車を初めて大臣認定【国土交通省】

- 平成 20 年度エコポイント等 CO2 削減のための環境行動促進モデル事業の公募について【環境省】

- 全国のカーシェアリング事例一覧を更新【交通エコロジー・モビリティ財団】

- ノーマイカーウィーク秦野について【秦野市】

- 常設型WEBサイト「マイカー乗るまっデーくらぶ」を開設【広島市】

- 「ひろしまエコライフポイント」参加者募集【広島市】

- オムニバスタウンの指定を受けました【福山市】

- PASMO・Suicaの合計発売枚数が3,000万枚を突破【関東ICカード相互利用協議会、PASMO 協議会、東日本旅客鉄道】

- 羽田空港無料連絡バスに低公害車を導入【京急バス】

- 東京電力と『i MiEV』の実証走行試験を開始【三菱自動車】

4. イベント情報

- 秦野のくらしと交通を考える ～地球温暖化防止に向けて
- チーム・ポリティカ 第2回セミナー「日本発:環境都市を創る」
- 燃費向上! 事故激減! 全部見せます! エコドライブの成果発表会
- カーフリーデーアジア会議 in YOKOHAMA
- 「ユビキタスITS」公開実証実験
- 広島県DSSS展示広報及び実証実験デモ
- ITS 産業フォーラム

5. その他

- 記事募集中!

1. 寄稿①「環境的に持続可能な交通を目指して」(第19回)

- 「ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデーのご紹介」

【アトリエ UDI 望月真一】

(ヨーロッパモビリティウィーク&カーフリーデー日本コーディネーター)

世界の2000都市が同時に行うヨーロッパモビリティウィークの日本担当を指名されてから、日本でもすでに4回の実施を数え、昨年は何とか6都市が参加しました。日本の特徴は、市民団体主役が多く、キャンペーンイベントにとどまっていることで、運営委員会に入っている中では日本だけが公的支援がないというのが、世界における日本の立場、評価を示しています。日本の環境と都市側の微妙な関係を認識し、しかし重要な国であるというヨーロッパの考えと理解します。モビリティウィークの発端は、「一日車のない都市空間を創出し、いつもと違う都市環境や交通行動を市民一人一人が体験することで、地球環境や都市交通・生活の観点から過度の車依存を見直す契機とする」カーフリーデーですが、始まってから11年たちます。その頃もトラム復活ラッシュなど日本と違う次元にいたヨーロッパの環境にやさしい人本位の交通政策はさらに進化し、この5年は加速さえしています。

以前、統合的都市政策の成果としてのストラスブールのトラムに衝撃を受け紹介に努めていましたが、中心市街地空洞化と地球環境問題への関心の高まりにもかかわらず、実現の可能性すら見えませんでした。そうした頃1997年にラ・ロッシェルの「車のない日」に出会い、車最優先社会の見直しを先と活動の中心をカーフリーデー、そしてヨーロッパモビリティウィークへとシフトさせてきました。日本のお茶を濁すような事業から抜け出すためにも、ヨーロッパの経験からもモビリティウィークの効果は見逃せないのも今以上に普及に努めてまいりたいと思っております。

昨年中国が大々的に参加し、ソウルでは大規模なカーフリーデーを実施しました。また日本では、洞爺湖で環境サミットがおこなわれる機会でもあるので、日本でのモビリティウィーク&カーフリーデーも一般の人々の注目を集めるいい機会と、先行する近隣アジア諸国の

担当者に来ていただき、横浜で5月30日カーフリーデー・アジア会議 in Yokohamaを横浜開港記念館で行います。アジアのネットワーク作りに貢献し、日本の活動にも弾みをつけたいと企画しました。各方面の支援を呼びかけているところです。(参考：<http://www.cfdjapan.org>)

2. 寄稿②「地方から全国に向けた情報発信！」(第19回)

●「尼崎21世紀の森ってご存じですか？」

【兵庫県県土整備部21世紀の森課 森田和男】

皆様、唐突ですが、尼崎21世紀の森ってご存じでしょうか？尼崎市は、阪神工業地帯の中心地、工都として活気に満ちあふれ、日本経済の発展を支えてきましたが、その代償として自然環境が失われ、更に産業構造の変化等により工場が閉鎖されるなど、地域の活力が低下していました。そこで、尼崎市の国道43号以南の臨海地域において「地域活力の再生」、「地域環境の再生」をめざし「森と水と人が共生する環境創造のまちづくり」を進める構想が、尼崎21世紀の森です。

平成14年に尼崎21世紀の森づくり協議会を立ち上げ、市民、企業、各種団体、行政がアイデアを出し合い、構想の実現に取り組んでいます。地域の中心部ではリーディングプロジェクトとして、約29haの尼崎の森中央緑地を整備し、広大な森を創出しています。

さて、構想では環境にやさしい交通の実現もめざしています。臨海地域は、公共交通アクセスが不便な地域ということもあり分担率では自動車が4割を占めています。今、この地域では工場立地が進んでおり、バス交通が充実されつつあるこの機会をとらえ、モビリティ・マネジメントを通じて、既存工場の従業員にバス利用を働きかけています。また、自転車で快適に走行できる空間「尼っ子リンリン・ロード」を整備し、PRをしています。

最近では、工場萌えという言葉も聞かれますので、一度、リンリン・ロードで巨大な工場群に萌えてみませんか？

3. ニュース／トピック

●社会資本整備審議会環境部会・交通政策審議会交通体系分科会環境部会「京都議定書目標達成計画の評価・見直しに関する最終とりまとめ」の公表について【国土交通省】

社整審及び交政審の両環境部会では、京都議定書目標達成計画において、第一約束期間の前年である今年度に、対策・施策の進捗状況等について評価・見直しを行うと定められていることを踏まえ、進捗状況の評価と今後の対策・施策の方向性について、平成1

8年末より両審議会において審議を行い、最終とりまとめを作成いたしましたので公表いたします。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/01/010208_.html

●「第1回 交通分野における地球環境・エネルギーに係る国際的な取組に関する有識者検討会」の開催について【国土交通省】

福田首相がダボス会議で提唱した、セクター別アプローチの具体化として、CO2排出量の20%を占める交通分野からの排出削減に向けた国際的な取組のあり方に係る検討を適切に進めるため、有識者による検討会を開催しますのでお知らせいたします。なお、本検討会の検討結果は、本年10月に国土交通省が主催することを予定している「交通分野における地球環境・エネルギーに関する大臣会合」に反映させる予定です。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/01/010219_2_.html

●地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案について【国土交通省】

「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案」が1月29日に閣議決定されましたので、お知らせします。この案の趣旨は、地域公共交通特定事業を継続することが困難、又は困難となるおそれがあると認められる旅客鉄道事業について、市町村その他の者の支援を受けつつ事業構造の変更を行うことにより輸送の維持を図るための事業（鉄道事業再構築事業）を行うものです。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/08/080130_.html

●路面電車の情報提供等実証実験の実施について【国土交通省】

国土交通省では、都市内の公共交通機関の整備に対する支援や公共交通利用促進のための各種取り組みの一環として、情報技術を活用した路面電車等の公共交通機関の利用を促進するためのシステムの開発に取り組んでいます。今般、路面電車の利便性・速達性・定時性を向上させ、その利用を促進することを目的に、路面電車の利用者ニーズの高い情報を提供し、その有効性や課題等を検証する実証実験を広島で行います。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/04/040207_.html

●Web版バスマップの実証実験が始まります【国土交通省】

国土交通省では、バス路線情報の電子化を推進し、バス利用者の利便性向上を図るため、バス事業者が容易にバス停位置情報やバス停ごとの時刻表、バスの運行ルートを電子的に情報提供できるバスマップシステムを開発しました。小田急バス株式会社、関東バス株式会社の協力のもと、実証実験を実施いたします。バス路線情報の電子化を推進するため、本システムについては実証実験終了後にバス事業者等に対し提供する予定です。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/09/090218_.html

●羽田空港で非接触給電ハイブリッドバスが運行します【国土交通省】

国土交通省は、環境性能を大幅に向上させた次世代の低公害トラック・バスの開発・実用化を進めるため、「次世代低公害車開発・実用化促進プロジェクト」を実施しています。このプロジェクトの対象車種の一つである非接触給電ハイブリッドバスが、2月15日より羽田空港のターミナル間の無料連絡バスとして実際に運行します。このバスは現在、日本に1台であり、実際のバス事業に使用されるのは初めてです。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/09/090206_3_.html

●E10対応車を初めて大臣認定【国土交通省】

国土交通省は、日産自動車(株)から申請のあったE10対応車(燃料としてガソリンにエタノールを10%まで混合したものを使用することができる自動車)について、2月6日、道路運送車両の保安基準第56条第4項に基づく試験自動車として国土交通大臣認定を行いました。これにより、E10対応車が国内で初めて公道を走行することになります。

http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha08/09/090206_.html

●平成20年度エコポイント等CO2削減のための環境行動促進モデル事業の公募について【環境省】

環境省では、広く国民一般の環境行動を促進するため、エコポイント等温室効果ガス削減に資する行動の多寡に応じて、当該行動を行った者等にプラスの誘因、特に、経済的なインセンティブを付与する取組を全国的に普及させることとし、全国規模又は地域レベルでエコポイント等CO2削減のための環境行動促進モデル事業を募集することとしました。

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=9352>

●全国のカーシェアリング事例一覧を更新【交通エコロジー・モビリティ財団】

交通エコロジー・モビリティ財団は、先月、カーシェアリングを運営している事業者・市民からの情報提供をもとに、「全国のカーシェアリング事例一覧」を更新し、ホームページで公開しています。車両ステーション数は299カ所、車両台数は513台と、いずれもこの1年で2倍以上に増えています。会員数も3割増の3200人となっています。昨年11月にはトヨタグループも参入しました。

http://www.ecomo.or.jp/topix/jouhounet_zenkoku%20no%20cs%20jirei%20ichiran.htm

●ノーマイカーウィーク秦野について【秦野市】

秦野市は、平成17年度から交通需要マネジメント(TDM)に取り組んでいます。今回実施される「ノーマイカーウィーク秦野」もTDM施策の1つで、今年で3年目を迎えます。「ノーマイカーウィーク秦野」は、市民の方々に積極的に参加してもらい、TDMの認識と理解を深

め、さらなる効果を上げることを目的としています。市では、期間中に2日以上に参加を呼びかけています。

<http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/t-keikaku/koutuu/tm/news.htm>

●常設型WEBサイト「マイカー乗るまァデーくらぶ」を開設【広島市】

広島市では、毎月 22 日を「マイカー乗るまァデー」とし、ノーマイカー運動を推進しています。「マイカー乗るまァデー」は、クルマを利用してはダメというものではなく、クルマに過度に依存するライフスタイルを見直し、市民一人ひとりが上手なクルマの使い方を考え、実践・体験することを通じて、地球温暖化の防止に貢献する行動の輪を広げていく取組です。この度、多くの方に継続して環境にやさしい交通行動に取り組んでいただくための支援サイト「マイカー乗るまァデーくらぶ」を開設しました。

<http://www.noruma-day.jp/whatis.php>

●「ひろしまエコライフポイント」参加者募集【広島市】

「ひろしまエコライフポイント」は、気軽に参加できる地球温暖化防止の取り組みです。地球温暖化防止の取り組みを行い、パソコンや携帯電話を使って取り組みの報告をすると、ポイントがもらえます。たまったポイントは、お店で割引やサービスの提供などの特典と交換できます。

<http://www.city.hiroshima.jp/www/contents/00000000000000/1202803119626/index.html>

●オムニバスタウンの指定を受けました【福山市】

福山市は、2008年1月30日付けで、国からオムニバスタウンの指定を受けました。この指定は、国の施策の「オムニバスタウン構想」を活用し、バスの利用環境を整え、バス利用を促進し、生活バス交通の維持・確保を図るもので、全国で14番目、県内では初の指定都市となります。

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/life/detail.php?hdnKey=2966>

●PASMO・Suicaの合計発売枚数が3,000万枚を突破【関東ICカード相互利用協議会、PASMO協議会、東日本旅客鉄道】

首都圏の交通機関をシームレスに移動できるICカード「PASMO」・「Suica」の合計発売枚数が、1月18日(金)に3,000万枚を突破しました。2007年3月18日に「PASMO」・「Suica」の首都圏ICカード相互利用サービスがスタートし、サービス開始3日目で合計発売枚数が2,000万枚を超え、この度、交通系ICカードでは国内最大の発売枚数3,000万枚に達しました。

<http://www.tobu.co.jp/file/682/080123.pdf>

●羽田空港無料連絡バスに低公害車を導入【京急バス】

京急グループの羽田京急バス株式会社と日本空港ビルデング株式会社は、羽田空港の第1旅客ターミナル・第2旅客ターミナル・国際線ターミナルを結ぶ、ターミナル間無料連絡バスを運行しております。平成20年1月31日(木)から、同連絡バスに低公害ノンステップ車両を2両導入いたします。この低公害車両は、ディーゼルエンジンと電気式のハイブリッド車両で、平成27年度重量車燃費基準達成車、低排出ガス重量車適合など数々の低燃費、低公害基準を達成しています。

http://www.keikyu.co.jp/corporate/press/mk_auto/20070130a.shtml

●東京電力と『i MiEV』の実証走行試験を開始【三菱自動車】

三菱自動車は、電力会社と共同研究中の電気自動車『i MiEV』に関して、共同研究の第2段階として、『i MiEV』を東京電力の支社等に順次配備し、業務車両として使用する「実証走行試験」を開始します。この実証走行試験では、三菱自動車は研究車両の供給や実証走行データの分析、東京電力は実証走行の実施・データの収集や実用性の評価を担当し、実際の運転環境における総合的な性能や市場での受容性を確認します。同様の実験を九州電力、関西電力とも行います。

<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/pressrelease/j/corporate/detail1727.html>

4. イベント情報

●秦野のくらしと交通を考える ～地球温暖化防止に向けて

日時:2008年3月2日(日) 13:30～16:00

場所:秦野市文化会館 小ホール

主催:環境省関東地方環境事務所

<http://navi.city.hadano.kanagawa.jp/t-keikaku/koutuu/tdm/pdf/est-forum.pdf>

●チーム・ポリティカ 第2回セミナー「日本発:環境都市を創る」

日時:2008年3月6日(木) 18:00～20:30

場所:星陵会館(永田町) 1F 会議室E

主催:エコロ・ジャパン

<http://www.eic.or.jp/event/?act=view&serial=14372>

●燃費向上! 事故激減! 全部見せます! エコドライブの成果発表会

日時:2008年3月14日(金) 13:30～16:00

場所:大阪府トラック総合会館

主催:河北地域エコドライブ推進研究会

<http://homepage3.nifty.com/sustran-japan/datafile/events.htm>

●カーフリーデーアジア会議 in YOKOHAMA

日時:2008年5月29日(木) 17:00~20:00、30日(金) 10:00~16:30

場所:横浜市開港記念会館(予定)

主催:カーフリーデージャパン

<http://blog.goo.ne.jp/cfdjapan/>

●「ユビキタスITS」公開実証実験

日時:2008年2月25日(月)~26日(火) 10:00~16:00

場所:独立行政法人情報通信研究機構 横須賀リサーチパーク

主催:独立行政法人情報通信研究機構

<http://www2.nict.go.jp/pub/whatsnew/press/h19/080218/080218.html>

●広島県DSSS展示広報及び実証実験デモ

日時:2008年2月26日(火)~28日(木)

場所:紙屋町シャレオ 中央広場 (広島市中区基町地下街 100号)

主催:社団法人新交通管理システム協会

<http://www.utms.or.jp/wp/?p=30>

●ITS 産業フォーラム

日時:2008年2月29日(金) 13:00~17:30

場所:化学会館 5F 501 会議室(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5)

主催:情報処理学会 ITS 研究会

<http://www.ysr.net.it-chiba.ac.jp/sigits/forum/forum0802.html>

5. その他

●記事募集中!

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。EST、または「交通と環境」に関連する取り組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。

→ E-mail:EST@ecomoto.or.jp (担当:市丸)

発行:環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局
(交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

http://www.estfukyu.jp/mailmagazine_cancel_form.html

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>